

多くの沖縄県民は『辺野古移設』を拒んではいません  
**武蔵野市議会の「無責任な意見書」を撤回して下さい!**

～国連人権委員会で証言した我那覇真子さんを迎えて～

武蔵野フォーラム



写真提供 ©産経新聞社

**基調報告**我那覇真子（琉球新報、沖縄タイムスを正す県民・国民の会 代表）

**ゲストスピーチ** 山田宏（前衆議院議員・前杉並区長）

砥板芳行（沖縄県石垣市議会議員）

呉善花（評論家・拓殖大学教授）

ほか調整中

**日時**

平成27年11月18日(水)  
午後6時半開会(6時開場)

**場所**

武蔵野公会堂 大ホール

東京都武蔵野市吉祥寺南町1丁目6番22号  
TEL: 0422-46-5121  
JR線・京王井の頭線 吉祥寺駅南口より徒歩2分

**参加費**

無料

**開催呼びかけ人**

大高未貴 呉善花 岡野俊昭  
小名木善行 加瀬英明 桂和子  
ケント・ギルバート 黄文雄 櫻井よしこ  
佐波優子 杉原誠四郎 すぎやまこういち  
石平 高池勝彦 高山正之  
トニー・マラーノ 中山成彬 西村幸祐  
百田尚樹 藤岡信勝 藤田裕行  
松木國俊 水島総 宮崎正弘 宮脇淳子  
茂木弘道 八木秀次 山本優美子  
袖原正敬 渡部昇一 (五十音順・敬称略)

主催 沖縄の真実の声を聞く武蔵野市民の会  
開催協力 武蔵野フォーラム開催実行委員会

◆集会に関するお問い合わせ◆

武蔵野フォーラム開催実行委員会事務局  
東京都港区西新橋 2-13-14 新佐久間ビル 3F (株)世界出版内  
TEL: 090-3519-5402 (高野) / 090-2389-1932 (越後)

平成27年10月4日

武蔵野市議会議員の皆様

ジュネーブ国連派遣団  
団長 我那覇 真子

拝啓 突然お手紙を差し上げます失礼をお許し下さい。

先頃、武蔵野市の議会によって「地方自治の尊重を政府に求める意見書」が議決された事は大変残念な事でした。

何故なら、これは誤った認識の下に行われたものであり、結果的に武蔵野市議会の名誉を大きく傷つけるものになったからです。

まず、辺野古新基地建設というのは誤りであり、正しくは辺野古移設です。既に辺野古には1959年から辺野古基地が存在し、それも地元の誘致要請を受けてのものです。

そもそも普天間基地辺野古移設は市街地にあつて危険とされる飛行場を安全な辺野古基地内の海側に移設するものであります。これは又、普天間基地のみならず、他の複数の米軍基地の返還を含むものであり、在沖米軍基地はこれによって大幅に整理縮小されます。

現在沖縄の置かれている“辺野古新基地建設”反対は、その実態が反日反米運動なのです。

武蔵野市議会の議決を受けて市内武蔵野公会堂で公演を行った稲嶺名護市長はかつて反米闘争運動一坪反戦地主に名を連ねていた人物です。

反戦一坪地主とは、過激派組織が中心となって行った運動です。

つまり、“辺野古新基地”反対運動とは、反日反米左翼運動に他なりません。実際に辺野古テント村辺野古基地前に座り込んで抗議する人々は、ほとんどが地元の人ではありません。いわゆる活動家と呼ばれる人々です。

先頃の武蔵野市議会の議決はこの運動を支援するものとなりました。

名護市民である私、我那覇真子は武蔵野市議会の今後の正しい対応によってその名誉の回復を願うものであります。

また、去る9月22日スイスのジュネーブにあります国際連合人権理事会において沖縄の真実を伝え、誤った情報が一方的に流れてしまうのを防ぐために演説を行ってまいりました。併せて皆様にご報告をさせて頂きたく存じます。

敬具

\*この度の武蔵野市議会による意見書決議に危機感を持った沖縄の我那覇真子さんが、武蔵野市の全議員にあてて送った手紙をご紹介します。